

福祉もりおか

http://www.morioka-shakyo.or.jp/



もりおかの暮らしの歳時記
【春の運動会】

2008.5.15

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

No.139

盛岡市若園町2-2 盛岡市総合福祉センター TEL:019(651)1000 FAX:019(622)4999

さつき晴れの空のもと、小学校では運動会たけなわ。新一年生たちも元気いっぱいです。もしがすると、ゴールの向こうにオリンピックをイメージしているかもしれせんね。

つながり・ささえあい・たすけあい

地域福祉の充実を基本とした20年度事業がスタート!

本年度は前年比14,633,000円マイナスの緊縮予算——

盛岡市社会福祉協議会の平成20年度当初予算は去る3月25日に開催された理事会・評議員会で決定されました。

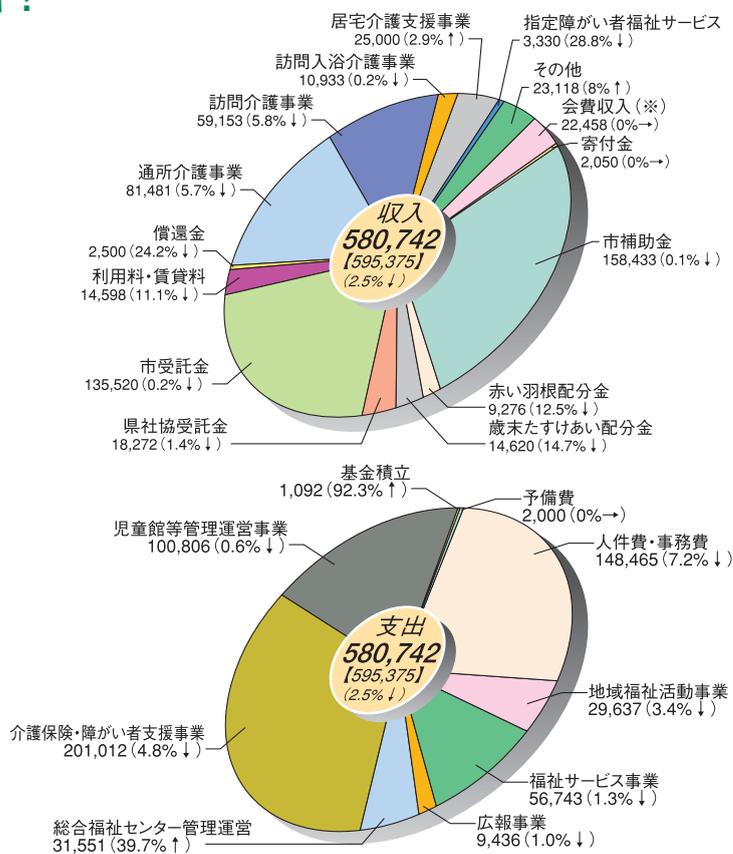
平成18年3月に盛岡市と旧玉山村が合併して2年が経過し、国、地方を通じた深刻な財政難や改正された介護保険法への対応、高齢者医療制度の変更等により、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、的確な事業推進と法人運営が求められています。

このような中、本会の20年度予算総額は一般会計及び公益事業会計あわせて5億8,074万2千円となり、各事務事業費の縮減に取り組んだ結果、前年度予算額と比較し、1,463万3千円の減額、率にしてマイナス約2.5%の緊縮予算となっています。

本会としては、厳しい財政状況においても運営財源の適正な執行に努め、経営改革を推進するとともに、地域福祉活動計画の普及を図り、地域の「つながり」「ささえあい」「たすけあい」を基本とした各種事業を推進します。また、社会的支援を必要とする地域住民の生活課題をとらえ、対応する福祉サービスを提供するなど、本会の使命である地域福祉を積極的に推進してまいります。

20年度 予算

(単位:千円)



※ () 内は、費目毎の前年度比率を示しています。
【 】 内は、前年度予算です。

※	世帯会費(1世帯200円)	19,570千円
会費収入の内訳	個人会費(1名500円)	780千円
【22,458千円】	団体・施設会費(1団体2,000円)	308千円
	特別賛助会費(法人・事務所)	1,800千円

いわての暮らしUPサイト!

Chiikeys®

チキーズ

クリック!! 検索

店舗情報には
会員利用者の声を
随時掲載!

超~お得な
お役立ち情報が
てんこ盛り!

■チキーズ会員になりませんか?

- 会員登録をするとプレゼント応募ができます!
- 毎日のログインやクチコミ投稿で得たポイントで景品GET!
- お得情報としてメルマガ等の配信をいたします!

■情報掲載店随時募集中!

Chiikeys への基本情報掲載は「無料」です
お店のPRにどんどん利用いただけます。

チキーズモバイルOPEN!!

携帯から、お店情報を見たり、
クチコミ投稿や、プレゼントの
応募もできるよ!

QRコードで携帯にアクセス!!

川口印刷工業株式会社
[Chiikeys編集室] TEL.019-614-0277 info@chiikeys.jp

平成20年度 盛岡市社会福祉協議会 事業計画

I. 事業方針

社会福祉協議会を取りまく環境は、行財政構造改革にともなう補助金の整理統合や公共施設の指定管理者制度の実施、また改正介護保険法施行への対応などに直面し、ますます厳しい状況にあります。

一方、社会福祉協議会には、市民の誰もが安心して暮らしていける「互いに支え助け合う」福祉のまちづくりの担い手としての役割が求められています。

このようなことから、社会福祉協議会は、地域住民・各福祉団体や行政と緊密な連携のもと、住民主体の支援や各種活動を通じてその役割を果たしてまいります。

平成18年度に策定した「盛岡市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の普及を図ることを目的に、市内の各地区福祉推進会において開催してきた「地域福祉ワークショップ」を本年度も引き続き開催し、地域の方々とともに各地域の福祉問題や生活課題を解決するためのネットワークづくりに努めてまいります。

事業の実施に際しては、会費、共同募金配分金、寄付金、市補助金等運営財源の執行効率化に留意し、市の福祉施策と密接な連携を図りながら地域の関係団体、組織の協力のもとに以下の事項を重点項目として取り組んでまいります。

II. 重点項目

1. 盛岡市社会福祉協議会地域福祉活動計画の普及

地区福祉推進会において「地域福祉ワークショップ」を開催し、地域の方々とともに各地域の福祉問題や生活課題を解決するためのネットワークづくりに努めます。

2. 地域福祉活動の推進

地区福祉推進会や町内会等の住民組織、社会福祉関係団体をはじめ広く市民の参加や協働による福祉活動の支援や福祉コミュニティづくりなどを展開し、地域福祉の推進に努めます。

3. 福祉サービスの利用支援

利用者等の立場に立って福祉サービスの利用についての援助や地域で生活していくための支援に向けた相談、支援活動、情報提供などに努めます。

4. 在宅福祉サービスの提供

虚弱な高齢者などが在宅での生活を維持できるよう多様な在宅福祉サービスを提供し、市民個々の地域での生活を支援します。

5. 適正な事務、事業の執行

電算システムを活用した事務処理の効率化を図り、機能性を重視した組織運営に努めるとともに、職員の更なる意識改革と資質の向上に取り組めます。

III. 事業実施計画

1. 地域福祉活動事業 (事業費29,637千円)

(1) 地域福祉事業

- ①地区福祉推進会事業活動・事務助成事業 (対象32地区)
- ②地区福祉推進会ボランティア活動助成事業 (対象32地区)
- ③地区福祉推進会世代間交流助成事業 (対象32地区)
- ④「地域福祉ワークショップ」の開催
- ⑤小地域活動事業 (対象10自治会指定)
- ⑥除雪機貸出事業 (保有台数4台)
- ⑦ふれあいサポートバンク事業(利用会員9人、協力会員14人)
- ⑧ふれあいのまちづくり事業

(2) 高齢者福祉事業

- ①ひとり暮らし老人座談会への支援 (対象32地区)
- ②ふれあい給食事業 (対象32地区)
- ③介護、医療、保健講座への支援(市受託) (対象32地区)
- ④ひとり暮らし老人等への友愛訪問事業
- ⑤老人スポーツ大会・芸能大会・作品展への支援
- ⑥配食サービス事業(一部市受託) (対象47人)
- ⑦福祉茶会 (19年度実績157人)
- ⑧高齢者地域生活支援事業(シルバーマイト)(市受託)

(3) 児童福祉事業

- ①福祉協力校指定事業 (対象 玉山区小・中学校12校)
- ②福祉教育推進事業(福祉作文・標語コンクール) (対象 市内小・中学校)
- ③母子福祉への支援
- ④児童活動事業推進と支援
- ⑤民間施設(保育園)交流事業

(4) 障がい者(児)福祉への支援

- ①身体障がい者団体等への支援
- ②心身障がい児団体等への支援(心身障害児一時介護事業)
- ③障がい者(児)への友愛訪問事業
- ④障がい者等移送サービス事業

(5) ボランティア活動への支援

- ①ボランティア登録斡旋事業
- ②ボランティア養成研修事業
- ③ボランティア情報ネットワーク推進
- ④ボランティア活動保険加入助成事業(19年度実績13,344人)
- ⑤ボランティア組織育成事業

(6) 福祉団体育成支援事業

福祉関係団体が実施する研修や各種事業に要する経費の一部を助成し、当該団体活動の推進を支援します。

2. 福祉サービス事業 (事業費56,743千円)

(1) 相談事業

- ①心配ごと相談
- ②結婚相談
- ③高齢者就労相談
- ④助け合い資金貸付相談

- ⑤認知症等権利擁護相談
- ⑥日常生活自立支援事業(旧 権利擁護事業)(県社協受託)
- ⑦生活福祉資金・離職者支援資金等貸付相談事業(県社協受託)

(2) 在宅福祉サービス

- ①ホームヘルプサービス事業 (介護保険事業に転記※1)
- ②デイサービス事業 (介護保険事業に転記※2)
- ③居宅介護支援事業 (介護保険事業に転記※3)
- ④日常生活用具貸与事業
- ⑤外出支援事業(送迎サービス)(一部市受託)
- ⑥車いす同乗福祉自動車貸出事業
- ⑦高齢者世話付住宅援助員派遣事業(市受託)
- ⑧ひとり暮らし緊急通報(市受託)
- ⑨(視)生活管理指導員派遣事業(ヘルパー)(市受託)
- ⑩(自)生きがい活動支援通所事業(一部市受託)
- ⑪(宅)在宅ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業(市受託)
- ⑫(代)家族介護者リフレッシュ事業(市受託)

3. 広報事業 (事業費9,436千円)

- ①社会福祉大会の開催
- ②社会福祉協議会の広報紙である「福祉もりおか」の発行 (年6回発行)
- ③インターネットによる社会福祉協議会ホームページの公開

4. 総合福祉センター管理運営事業 (事業費31,551千円)

- ①総合福祉センターの利用促進
- ②玉山福祉センターの外壁補修工事

5. 介護保険・障がい者支援事業 (事業費201,012千円)

(1) 社協単独事業

- ①指定居宅介護支援事業 (盛岡駅西口・月が丘※3)
- ②訪問介護・介護予防訪問介護事業 (盛岡駅西口・月が丘※1)
- ③訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業 (盛岡駅西口)
- ④通所介護・介護予防通所事業 (盛岡駅西口・月が丘※2)
- ⑤指定介護予防支援事業

(2) 受託事業

地域包括支援センター事業(盛岡駅西口・月が丘はランチ型)

(3) 障がい者支援事業

- ①指定障がい福祉サービス事業(居宅介護)
- ②盛岡市訪問入浴サービス事業

6. 児童館等管理運営事業(市指定管理・受託事業)(事業費100,806千円)

- ①児童館管理運営事業
- ②都南こどもの家・城内学童クラブ運営事業

7. 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動

こんなとき、どうすればいいの?!

～実際にあった窓口相談から～

一人暮らし高齢者を見守った地域福祉ネットワーク

Kさん(78歳)は、夫と一人息子に先立たれ自宅で一人暮らし。近くの町に実の弟さんがいて面倒を見ていたが、「弟が通帳や印鑑を持っていく」などと話すようになったため、弟さんもKさんとかかわりを避けるようになりました。そのうえKさんは「誰かが来て家のものを盗んでいくから心配で家を空けられない」と一日中家の中で過ごすようになってしまいました。

民生委員が様子を聞きに行ったところ、Kさんは通帳や印鑑を紛失し、手元に現金が無いと、近くの商店や食堂に借金をしていました。ただ、幸いなことに、公共料金が納められていることが確認できたことから預金があることが分かりました。

Kさんは物忘れがひどく、このままでは健康的で安心な生活が維持出来なくなると判断した民生委員は地域包括支援センターに相談。その後、市の介護高齢福祉課、

地域包括支援センター、介護支援センター、社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)の担当者や民生委員、弟さんによる、ケア会議を数回開き、支援について話し合いました。

その結果、金銭管理に関しては社会福祉協議会の日常生活自立支援事業で、食事や身の回りのお世話はホームヘルパー、民生委員は日常的に見守りを行うことになりました。

さらに、将来的には成年後見制度を利用することが望まれることから、弟さんに制度の説明を行いました。弟さんは自分も高齢であることから後見人を第三者にお願いしたいとの希望で、申し立てにより司法書士の後見人が認められました。

現在のKさんは、複数のサービスを利用することで、安全で安心な暮らしを続けています。民生委員の活動をき

っかけに専門機関が協力し、一人の高齢者の生活を支援したケースです。

このように社会福祉協議会は、関係機関と連携しながら、日常生活に課題を抱える方々を支援しています。

(実際にあった事例を要約して掲載しました)



もっとひろがれ ボランティアの輪

みんながやさしい気持ちになれば やさしい街になる

キャップハンディいわて



アイマスクをかけ歩行

キャップハンディ体験(障がい者疑似体験)は、健常者が車いすで移動したり、アイマスクをかけ白いつえを使って歩行するなど、障がいを持った人の行動を体験すること。体験者は、普段なんでもなかった道路の段差や傾斜、デコボコ、あるいは路上に置かれた物などが、障がいを持った人にどれだけ危険で不安を与えるのかを思い知らされる。この体験をとおして、障がいを持った人が困っているとき、どう手をさしのべたらよいのかを学んでもらおうというのが「キャップハンディいわて」の活動だ。

会の発足は平成7年4月。この前年10月、「第3回全国ボランティアフェスティバル岩手」が開催され、岩手県内でさまざまなボランティア活動が動き出した。

中村福子さんは、勤務先がボランティア活動に積極的な会社だったことから、早くから献血などの活動をしており、そのこともあってボランティアフェスティバルに際しては県の要請で前年、前々年の開催地を視察、岩手大会では主導的に活動した。そして翌年、「せっかくの活動を絶やしたくない」という

声を受け、30名ほどのメンバーで「キャップハンディいわて」を発足させた。

「まずは子どもたちに体験してもらって、外に出かけたとき障がいを持った人に手をさしのべてあげるやさしい気持ちを持ってもらおう」(中村さん)と、小学校への出前活動からスタート。市町村の社会福祉協議会などからも依頼が相次ぎ、県内各地を回って指導にあたった。「ボランティアフェスティバルが岩手のボランティア活動の大きなステップになりました」(中村さん)。

学校の先生、県職員への指導のほか、近年は商店街やバスの運転手、建築家、土木関係者などからも体験希望が来る。障がいを持った人にもやさしい、いわゆるバリアフリーなまちづくりに向けての取り組みが行われている現れだ。

「障がいを持った人の気持ちがわかれば、街はもっとやさしくなっていくと思います」と中村さん。これからは、キャップハンディ体験のほか、手足に重りをつけたり、濃い色のメガネをかけて歩く「シニア体験」も普及させて行く考え。

活動に参加希望の方は下記、中村さんまで。

キャップハンディいわて

- 代表 中村 福子 連絡先 090-7664-8918
- 会員 約20名
- 活動 月例会(毎月最終土曜日、12時から、ふれあいランド岩手)、キャップハンディ体験、シニア体験指導



キャップハンディ体験をした子どもたちから寄せられたお礼の手紙(表紙)



あなたの力を ボランティアへ

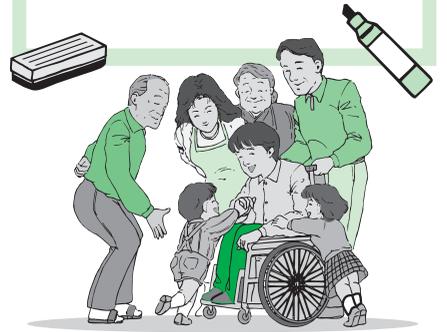
盛岡市社会福祉協議会にはたくさんのボランティア団体が登録をしています。

「どういうボランティア団体があるの?」「このボランティア団体を見学(または参加)してみたい!」

など、ボランティア団体に関するさまざまなご質問に電話や窓口でお答えします。

ボランティアに興味がある方、何か力になりたいと考えている方は盛岡市社会福祉協議会地域福祉課TEL(651)1000までご連絡ください。

みなさんの気持ちとパワーをお待ちしております!!



お花見

月が丘老人デイサービスセンターでは4月21日(月)~26日(土)の期間、恒例の「お花見ドライブ」を行いました。今年は高松の池や小岩井農場の一本桜までドライブに行きました。高松の池を周回する道路に送迎車両が入っていくと満開の桜並木が視界に飛び込んで来て、参加した利用者さんたちからは「わ~、きれい」といった歓声が上がっていました。



桜の下で「はい、チーズ」



すくすく育てよ

花植え

4月19日(土)、月が丘デイサービスセンタースタッフと利用者さんたちと一緒に花植え作業をしました。今後、花だけではなくミニトマトやキュウリなどの野菜も植える予定です。成長する姿や花を見たり、野菜を収穫するのが楽しみです。

巻堀児童館で入館式



ドキドキの入館式

玉山区の巻堀児童館(村山秀夫館長)の入館式が4月5日に行われ、6名の児童が新たに仲間入りをしました。

お母さんと一緒に入場した新入児たちはたくさんの拍手で迎えられ、館長から真新しい黄色い帽子が贈られて「毎日元気に通って、みんなで仲良く遊んでください」とお祝いが述べられ、年長児童のお遊戯で歓迎を受けました。

高校生ボランティアスクール

3月24日(月)~26日(水)の3日間、盛岡市総合福祉センターを会場に盛岡市高校生ボランティアスクールが開催され、延べ27名が参加しました。

多くのボランティア団体の協力をいただき、キャップハンディ体験や手話、点字など短期間にいろいろな体験をすることができました。

最終日に盛岡医療福祉専門学校の中村さんを招き、「福祉の資格・仕事について」と題して行われた講話に参加者は真剣なまなざしで耳を傾けていました。



手話体験



車いす体験。指導はチーフインストラクターの佐藤裕弥さん

家族介護者リフレッシュ事業

3月18日(火)、盛岡市家族介護者リフレッシュ事業を実施しました。

これは盛岡市からの委託により実施している事業で、年に1回、家庭で家族を介護している方に少しでもリフレッシュしていただくことを目的としています。

今回は14人が参加し、最初に県立美術館を見学、その後は繋温泉で昼食・入浴という行程でした。

参加者からは「簡単な体操など、みんなで行うと楽しいのでは?」「リフレッシュできた」「とても良い雰囲気だった」「また参加したい」といった感想をいただきました。

まごころ

「社会福祉活動の推進に」と次の方々からご寄付をいただきました。
ご協力に感謝し報告申し上げます。
平成20年2月26日～平成20年4月21日(敬称略)

- 一般寄付
 - ▶社会福祉のために

創設10周年記念福祉チャリティ愛の募金箱実行委員会	248,652	単位:円
都南混声合唱団	20,000	
盛岡市グラウンドゴルフ協会	17,700	
株式会社 サクセス	54,820	
匿名	30,000	
匿名	19,400	
 - ▶ねたきり高齢者等のために

吉田 キヌ子	介護用品 205点	
--------	-----------	--

ヘルパー募集

盛岡市社会福祉協議会では盛岡駅西口ヘルパーステーションのヘルパーを募集します。

- 1.必要資格……ヘルパー2級以上。普通自動車運転免許
 - 2.雇用形態……非常勤(時間給)
 - 3.募集期間・人数……随時・若干名
 - 4.勤務地……盛岡駅西口ヘルパーステーション(盛岡駅西通一丁目2-2)
- 詳しくは、盛岡市社会福祉協議会 在宅福祉課 TEL(651)1000まで

玉山支所相談電話の統合について

玉山支所の相談専用電話TEL(669)5833は、盛岡市社会福祉協議会の心配ごと相談TEL(651)1000に統合されましたので、お知らせします。

車いすの寄贈を通じてアジア諸国との国際交流

いわて車いすフレンズ

「いわて車いすフレンズ」とは、県内の工業高校生を中心に、使われなくなった車いすを修理・整備し、アジア諸国へプレゼントするボランティア活動です。これまでに累計224台を16カ国へ寄贈してきました。

車いすの修理・整備以外にも多くの方々の協力を必要としています。



盛岡工業高校の修理ボランティア

活動には、次の3つがあります。

- ①修理ボランティア……車いすの修理・整備
- ②輸送ボランティア……ビジネスや旅行でアジアへ渡航する際、手荷物として車いすの輸送協力
- ③書き損じハガキ、使用済み切手等の収集ボランティア……車いすを運ぶ経費のために書き損じハガキやプリペイドカード等の収集

問い合わせ先

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3「ふれあいランド岩手」内
TEL (637)9711 FAX(637)4255
URL <http://www.iwate-shakyo.or.jp/friends/index.html>

事業のPR活動に 広告募集

福祉もりおが

盛岡市社会福祉協議会では、当協議会発行の会報誌「福祉もりおが」への広告掲載企業を募集しています。

- ・年間6回(原則として奇数月の15日)発行
- ・1回あたり約125,000部発行
- ・盛岡市内全世帯配布(一部の町内会は回覧)
- ・タブロイド判 4ページ

- ・広告料 100,000円/1回
- ・広告掲載スペース 約243mm×約129mm

申し込み・掲載基準等についてのお問い合わせは、盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 まで
盛岡市若園町2番2号 TEL (651)1000

広告スペース

約243mm×約129mm

訂正とおわび

先号(3月15日号/No.138)の1面「盛岡市社会福祉協議会の新役員が選任されました!」の記事中、新理事の人数が間違っていました。下記のとおり訂正しおわびします。

- 誤 新理事17名
- 正 新理事15名

この広報紙は、一部共同募金配分金を受けて発行しています。



行事カレンダー 6月・7月

6月	日	月	火	水	木	金	土	7月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5
	8	9	10	11	12	13	14		6	7	8	9	10	11	12
	15	16	17	18	19	20	21		13	14	15	16	17	18	19
	22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	23	24	25	26
	29	30							27	28	29	30	31		

6月 1日(日) 市民福祉茶会(杜陵老人福祉センター)
25日(水) 盛岡市老人囲碁大会(盛岡市総合福祉センター)
26日(木) 盛岡市老人将棋大会(盛岡市総合福祉センター)

7月 6日(日) 市民福祉茶会(杜陵老人福祉センター)
16日(水) 第35回盛岡市老人スポーツ祭典(県営運動公園)
30日(水) 盛岡市戦没者追悼式(盛岡劇場)

催し案内

第33回 盛岡市老人囲碁・将棋大会

今年も盛岡市老人クラブ連合会と共催で囲碁・将棋大会を開催します。

開催日:囲碁の部 6月25日(水)
将棋の部 6月26日(木)

会場:盛岡市総合福祉センター(若園町2番2号)

受付期間:6月9日(月)～6月20日(金) 期間厳守

申し込み方法:盛岡市社会福祉協議会事務局に用意した申込書に記入し提出していただくか、「参加種目(囲碁・将棋)、棋力、氏名、ふりがな、年齢、住所、電話番号」を明記した様式を提出して下さい。

※ FAXでの申し込みの際は必ず電話で着信を確認してください。

※ 締切前でも定員になり次第締切となります。

申込先 盛岡市社会福祉協議会 若園町2番2号
TEL(651)1000 FAX(622)4999



第35回 盛岡市老人スポーツ祭典



7月16日(水)、岩手県営運動公園陸上競技場を会場に、「第35回盛岡市老人スポーツ祭典」(主催:盛岡市、盛岡市老人クラブ連合会、盛岡市社会福祉協議会)が開催されます。

徒競走やリレーといったトラック競技やボールなどを使用したフィールド競技、どれも市内全域から集結した12チームの選手たちにより熱戦が繰り広げられ、各チームの応援も白熱します。

みなさまぜひ、お住まいの地域のチームの応援にお越しください。

お問い合わせは 盛岡市社会協議会 地域福祉課
TEL(651)1000まで

福祉茶会

今年度も盛岡市茶道協会の協力により市民福祉茶会が開催されます。

開催日時:6月1日(日)、7月6日(日)、9月7日(日)、11月2日(日)、3月1日(日)

午後1時から
会場:杜陵老人福祉センター(南大通一丁目7番5号)

対象者:市内在住の65歳以上の方

申込方法:盛岡市総合福祉センター(若園町2番2号)1階事務室で申込書にご記入いただいた方に招待券をお渡ししています。

お問い合わせは 盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL(651)1000まで



お知らせ



6月1日から盛岡市総合福祉センターの館内は全面禁煙となります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

雪が解け始めた頃、岩手県内のある村を訪ねた。そこは、人口約3,400人の山間の村、「お隣さんまで行ってくるよ」と言って出掛ける先が数km先。限界集落も存在するこの村は、高齢化率41%。しかし、そこに住むお年寄りはとても元気。82歳の一人暮らしのおばあちゃんは今でも現役で農業を営んでいる。厳しい環境で生活しているのだらうと思うが、それを感じさせない笑顔がその村にはあふれていた。

盛岡市社会福祉協議会 携帯電話向け情報サイト

<http://www.morioka-shakyo.or.jp/i>

QRコード対応の携帯電話でこのQRコードを撮影すると面倒な入力なしで簡単にサイトにアクセスできます。



再生紙に大豆油インキで印刷しています。